



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線 7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

小児科

食物アレルギーに対する 食物経口負荷試験について

食物アレルギーは、患者数が最近増加傾向で、3歳までの約20%に症状を認める身近な疾患です。家族歴やアトピー性皮膚炎などが発症のリスク因子と考えられていますが、アレルギーを恐れて離乳食の開始を遅らせることは、むしろアレルギーの発症リスクを上げてしまう可能性があります。そのため食物アレルギーの管理は『正しい診断に基づいた必要最小限の食物除去』が原則であり、原因食品の確定や、安全に摂取可能な量を確認するための確実な検査が食物経口負荷試験です。

食物経口負荷試験は、アレルギーが確定しているか疑われる食品を実際に摂取して症状が現れるかどうかを確認する検査です。試験では全身性の重篤なアレルギー症状により命の危険が生じるアナフィラキシーが誘発される可能性があるため、緊急対応が可能な体制で実施する必要があります。外来でも検査は可能ですが、ハイリスクな場合は一泊入院で検査を実施します。

検査では負荷する食品と負荷量を決定し、20～60分の間隔で3回に分けて段階的に量を増やしながら検査対象の食品を摂取します。症状が誘発された場合は次の摂取を中止し、症状に応じた治療を行います。試験結果を基に、管理栄養士から具体的に食べられる食品とその量について食事指導を受けていただき、『安全に、原因食品を可能な限り摂取すること』を目標に治療を行います。

かかりつけの小児科クリニック等と連携しながら当院に入院して負荷試験を受けていただくことも可能です。興味のある方はどうぞ遠慮なく当院スタッフにご相談ください。



(小児科 主任医師 川口 直樹)



(裏面をご覧ください)

※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

歯科 口腔外科

周術期口腔管理とは

2021年 3月 第152号

～手術の前後、がん治療中には適切な口腔管理を～

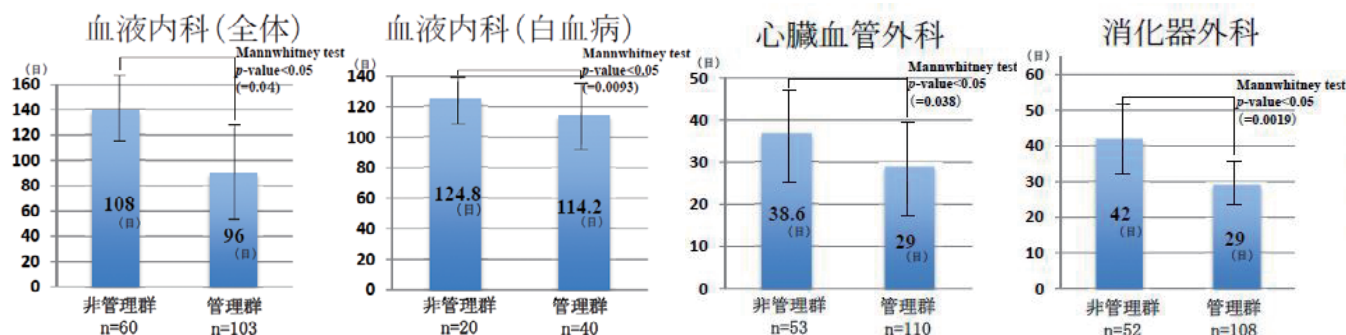
「周術期」という言葉は簡単にいうと手術日を含めた手術前後の時期を指します。

全身麻酔による手術では、口から気管チューブを挿入します。口腔内には1gの歯垢に1億という非常に多くの細菌があり、気管チューブを挿入することで口腔内の細菌を肺に押し込めてしまい肺炎や手術後の感染などの重篤な合併症につながるというリスクが生じます。また、動揺している歯がチューブなどに当たり、飲み込んでしまったり気管内に入ってしまったたりする可能性もあります。

同時にがん治療を受ける患者さんの抗がん剤治療や放射線治療にも適応があります。これらの治療中は免疫力が低下し、健康時にはかかりにくい細菌感染や口内炎が生じて口の状態が悪くなりやすいため、この時期にも口腔機能管理を行うことが重要です。抗がん剤治療では40%の患者さんに口内炎や味覚異常などの口のトラブルが生じるとされています。口腔内の清掃が十分でない場合には口内炎が悪化しやすく、食事を十分に摂取することが難しくなり、ひどい場合には治療方法、治療時期を変更せざるを得なくなる場合があります。

周術期口腔機能管理で期待される効果

専門的口腔ケアを受けた管理群とケアを受けていない 非管理群との入院日数の比較



千葉大学医学部附属病院における介入試験結果

当院では、手術を受ける患者さんが安心して手術やがん治療に臨んでもらえるよう、手術前後、がん治療中の口腔ケアを実施しています。周術期口腔機能管理を行うことで、肺炎・重症感染症などの合併症の予防や入院日数の短縮などの効果が期待されます。手術予定の患者さん、がん治療中で口内炎など口腔内に悩みのある患者さんは歯科口腔外科にご相談ください。



(歯科口腔外科 歯科医師 近藤 理江)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら

※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

(裏面をご覧ください)